

「早稲田大学教員任用履歴書」記入要領（【記入例】参照）

「早稲田大学教員任用履歴書」は本学にて永久に保管いたしますので、丁寧に扱うとともに、PC等で入力の上プリントアウトするか楷書で鮮明に（黒インクで）ご記入ください。履歴は学歴、職歴の開始と終了を漏れなく記入してください。「研究業績」用紙は罫線入りの様式と罫線なしの様式がありますが、どちらかの様式でご提出ください。なお、PC用の様式をご希望の場合はメールにてご送付いたしますので、箇所担当者へお申し出ください。

「早稲田大学教員任用履歴書」は、以下の要領にてご記入ください。

①年号の表記

年号はすべて西暦で表示願います。

②「氏名」欄

㊦印鑑を押印願います。（電子印不可）

印鑑をお持ちでない場合は、必ず直筆にて氏名を記入いただき、捺印欄にサインをしてください。

㊧外国人の方の場合の表記方法

1) 「氏名」欄は、母国語または英語で姓名を記入し、「フリガナ」欄はカタカナでご記入ください。

2) 氏名は姓の欄にファミリーネーム、名の欄にファーストネーム ミドルネームの順に記入してください。ミドルネームを省略する場合は、ピリオド [.] を使用してください。

（例）ジョン F. ケネディ

（姓）ケネディ （名）ジョン F.

㊨通称名を使用する場合は、『通称名（本名）』で表記してください。

㊩英字氏名はパスポートと同じ表記を記入してください。日本人も必ず記入してください。（本学で登録できるのはアルファベットのみで、Á á Â À Å Ã Ä äなどは使用できません）

③写真貼付

履歴書には、写真の貼付をお願いいたします。英文・和文（英文の翻訳）両方の履歴書を提出される場合、写真は和文履歴書に貼付してください。

④国籍欄

国籍(国名)をご記入ください。

⑤「学歴」欄

㊰高等学校の学歴は、最終学歴が大学卒業以上の場合は省略いただいて結構です。

㊱入学、卒業・修了等の年月日を正確にご記入ください。

早稲田大学の場合、入学は4月1日付で、卒業・修了は、両高等学院が3月31日付、学部は1953年より3月15日付（1969年は、一・二文、教育、理工、社会学は25日付）、大学院修士課程は1960年より3月15日付となっています。

また、学部においては9月15日付の9月卒業、大学院修士課程においては9月15日付の9月修了（1984年以前は10月修了）があります。不明な点がありましたら、該当する学部・大学院の事務所にお尋ねください。

㊦学科、専攻、専修名は、正確にご記入ください。

㊧大学院の修士課程・前期課程および博士課程・後期課程の記入欄は、学部までとは別に所定の欄を設けてありますので、ご注意ください。（該当の課程の名称を○で囲んでください。）

なお、早稲田大学大学院では、次のように課程の名称が変遷しています。下記により在学中に名称が変わった場合には、修了・退学の時点の名称になります。

早稲田大学大学院課程名称の変遷

戦後の新制度 ～ 1976年3月	修士課程と博士課程
1976年4月 ～ 1985年3月	博士前期課程と博士後期課程
1985年4月 ～ 現在	修士課程と博士後期課程

また、博士課程・博士後期課程で、年度途中で退学届を提出した場合を除き、学位を取得せずに大学を退学した場合は、一般的には3月31日付退学となります。

㊨博士学位名は、受領が1991年6月までが『○○博士』、それ以降は『博士（○○）』となります。

⑥「職歴」欄

㊩他の大学や学校で講師をされている場合は、専任・非常勤の区別を明確にご記入ください。企業・研究所等に勤務されている場合は、その役職名・肩書等を明記願います。

㊪他の大学・学校・企業等をすでに退職されている場合は、その退職年月日を明記願います。

㊫現職の欄には、複数の大学や学校、研究所等に勤務されている場合は、代表的な現職をご記入ください。退職の予定が決まっている場合は、終了（退職）年月日欄に退職予定年月日を明記願います。現職が常勤で本学の常勤に就任される場合は、本学就任時に退職予定かどうかを明記願います。

㊬助手の方の学外兼職は原則として禁止されていますが、助手退任後に他大学の教員になるためには、前もって非常勤講師に就任している方が採用されやすいという実情を考慮して、次のような申し合わせに基づいて兼職を認めています。

1) 職務の内容が本大学助手としての本務に支障をきたさず、かつ、社会的にみて大学の品位をおとしめるものでないこと。

2) 本務と特別の利害関係発生の恐れがないこと。

3) 授業担任時間が週4時間以内であること。

4) 学術院教授会、研究所もしくはセンターの管理委員会、演劇博物館または博物館協議員会が適当であると認めたものであること。

従って、助手の新規嘱任に際してすでに他大学等の非常勤講師に就任している場合、職歴欄には、その職名を記入し、助手就任前に退職する場合には退職予定年月日を明記、助手就任後も引き続き就任する場合には週当たりの授業担任時間を明記し、助手就任時または就任後速やかに学術院教授会等の承認を受けてください。詳しくは、当該事務所にご相談ください。

（例）○○大学非常勤講師（2006. 3. 31退職予定）

⑦「専攻分野」欄

自己の研究分野を以下に保管している「【別紙】専攻分野一覧」より選んで、必ずご記入ください。

I:¥20_教職員¥21_教育支援¥20_科目担当者人事¥05_履歴書¥履歴書フォーム

⑧「研究分野」欄

詳細にご記入ください。

⑨「教育研究業績」欄

⑦原則として、教育研究業績用紙 2 枚程度に収まる範囲内で、主要な著書・論文等をご記入ください。

①教育研究業績は、以下の順に記入してください。

- 1) 教育活動(1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)2. 作成した教科書、教材、参考書3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等4. その他教育活動上特記すべき事項)
- 2) 研究活動(1. 著書2. 修士論文・博士論文・論文3. 学会発表4. 文部科学省科研費/公的資金による研究課題(研究代表者)5. その他研究活動上特記すべき事項)
- 3) 学会等および社会における主な活動（学術賞等の受賞状況、特に海外の科学アカデミー等からの国際的学術賞の受賞があればご記入ください。）

各々の業績の書き方でご留意いただきたい点は、次のとおりです。

著 書：共著の場合は（共著）と明記していただき、題名のほかに執筆担当部分のタイトル名と担当頁を何頁～何頁までとご記入ください。ただし、表紙、奥付等に氏名が記載されている場合のみを共著とします。

論 文：査読付きの論文の場合は、（査読付）と明記してください。
共著の場合は（共著）と明記していただき、執筆担当部分がある場合には何頁～何頁までとご記入ください。また、著者名を論文に記載されている順序で全て記載してください。その際、筆頭著者の場合は（筆頭）と明記してください。

学会発表：「発行又は発表箇所」欄には、発表された学会名等をご記入ください。

国際学会の場合は（国際学会）と、招待講演の場合は（招待講演）と、基調講演の場合は（基調講演）と、査読付の場合は（査読付）と、それぞれ記載してください。

文部科学省科学研究費補助金採択課題：研究代表者として採択されたことがあれば、その種類、題目、金額等をご記入ください。

公的資金による研究課題：科研費以外の経済産業省、日本学術振興会などの公的資金による研究を代表者として実施したことがあれば、その種類、題目、金額（総交付額）等をご記入ください。

詳しくは、「教員任用履歴書」記入例をご参照ください。

②『昇任』の場合、専任講師から准教授に昇任される場合は、専任講師から准教授に昇任されるまでの間の教育研究業績のみをご記入ください。准教授が教授に昇任される場合も同じ要領です。

早稲田大学教員任用履歴書

※年号はすべて西暦でご記入ください

(2011年7月1日現在)

フリガナ	ワセダ	タロウ	性別	外国人教員の 翻訳者署名
英字氏名	WASEDA	Taro	男	
氏名	姓 早稲田	名 太郎	早稲田 女	
生年月日	1972年9月21日37歳	国籍	日本	TEL
現住所	フリガナ シンジュクニシワダ 〒169-0051 新宿区西早稲田1-1-1			03(3203)4141 携帯TEL 090(0123)4567
e-mail	taro@xxxxx.jp			

写真貼付
4cm×3cm

学 歴 [高等学校入学以降を記入し(入学・編入学)(卒業・修了・退学)等を区分してください]			
年 月 日		入学	
年 月 日	高等学校	卒業・修了・退学	
1991年4月1日		機械工学科	入学・編入学
1995年3月15日	早稲田大学 理工学部	専修	卒業・修了・退学
年 月 日			入学・編入学
年 月 日			卒業・修了・退学
1995年4月1日	修士課程に該当する学歴(新制大学院修士課程・前期課程)		入学・編入学
1997年3月15日	早稲田大学大学院理工学研究科 電気工学 専攻		修了・退学
1997年4月1日	博士後期課程に該当する学歴(博士課程・後期課程)		入学・編入学
2000年3月15日	早稲田大学大学院理工学研究科 電気工学 専攻		修了・退学(満期・中途)・在学中
博 士 学 位	取得学位名(課程・論文) 博 士 (工 学)	受領大学 早 稲 田 大 学	受領年月日 2000年3月15日

職 歴 [職歴異動の場合は入社・退社、および資格等を記入してください]		
※2013年4月1日以降に早稲田大学での職歴がある場合は、TA等アルバイトであっても必ずご記入ください。		
開始(就職)年月日	株式会社〇〇〇製作所 中央研究所 研究員	終了(退職)年月日
2000年4月1日～		～2005年3月31日
2002年4月1日～	△△△工業大学 工学部 非常勤講師	～2004年3月31日
2005年4月1日～	株式会社〇〇〇製作所 中央研究所 主任研究員	～2006年8月21日
2006年4月1日～	○△□大学 理工学部 非常勤講師(現在に至る)	～ 年 月 日
2006年8月22日～	株式会社〇〇〇製作所 基礎研究所 主任研究員	～2007年3月31日
2007年4月1日～	□□□大学 工学部 専任講師	～2009年3月31日
現 職		現在に至る
2009年4月1日～	□□□大学 工学部 准教授	(2012.3.31退職予定)

専攻分野 [別紙より選択]	電子・電気材料工学
---------------	-----------

研究分野 [詳しく記入]	電子工学、技術ジャーナリズム、技術経営
--------------	---------------------

氏名 早稲田 太郎

教育研究業績

[I 教育活動(1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)2. 作成した教科書、教材、参考書 3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 4. その他教育活動上特記すべき事項)、 II 研究活動(1. 著書 2. 修士論文・博士論文・論文 3. 学会発表 4. 文部科学省科研費/公的資金による研究課題(研究代表者)5. その他研究活動上特記すべき事項)、 III 学会等および社会における主な活動、の順に記入してください]

修士論文・博士論文・著書・論文・学会発表・科研費採択課題等の別	題名等	発行又は発表年月	発行又は発表箇所	掲載誌名等
I 教育活動				
1. 教育内容・方法の工夫	講義「○○○」実施にあたり、現実問題に近い題材により、実践的な教育を達成。	2005. 4 より	○○大学	
	講義「○○」および講義「○○」○○の手法を演習で適用することにより実践的ノウハウの教育を達成	2006. 8 より	○○大学 大学院	
	講義「○○」および講義「○○」において、オリジナルの教材を作成。	2003. 4 より	○○大学、 ○×大学	
2. 作成した教科書	○○○○○○○○○○	2004. 3	○○書店	
	○○○○○○○○○○ 分担執筆(80-100 頁)	2005. 9	○○○○	
3. 教育方法・教育実践に関する発表	報告書「○○研究集録」	2002. 3	○○県教育委員会	
II 研究活動				
1. 著書	△△△△△△△△△△△△△△△△△△△	1995. 5	○×出版	
(共著)	△△△△△△△△△(執筆担当部分のタイトル名 P100~P200 担当)	2000. 1	○△書店	
2. 修士論文	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1988. 3	早稲田大学	
博士論文	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1993. 1	早稲田大学	
論文 (共著) (査読付)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 早稲田太郎(筆頭)、大隈次郎、小隈花子	1994. 6	○○学会	○○○○誌
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P25~P30 担当 大隈次郎(筆頭)、小隈花子、早稲田太郎	1996. 9	○○社	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 小隈花子、大隈次郎、早稲田太郎	1998. 7	○○○○	○○○○○
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	2003. 9	○○○○	○○○○○
学会発表 (国際学会)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1997. 10	第 9 回電子材料学会	電子材料学会報告 No. 9
(査読付)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1998. 10	第 12 回応物学会	応物学会論文誌 No. 12
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	2002. 10	△女子大学	
4. 文部科学省科研費	基盤研究 B : □□□□□□□□□□□□□□□□	98-2000 年度	□□大学	500 万円
経産省□□研究助成	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	00-03 年度	□□□大学	2,000 万円
III 学会等および社会における主な活動				
	○×学会会員	1997. 1 から	○×学会	
	○○学会副会長	98-2000 年度	○○学会	

※該当の無い項目は省略してください。

C u r r i c u l u m V i t a e

SAMPLE 1/2

Family Name: SMITH

Given Name(s): JOHN JAMES

Gender: Male

Date of Birth: April 2, 1952

Nationality: U. S. A

Home Address: 124 ABC Street
Fort Collins, Colorado
37340 U. S. A.

Home Phone: +1-123-4567

Mobile Phone: 090-1234-5678

E-Mail Address: smith@aa.bb.com

Photo

4 cm × 3 cm

Educational Background

Month/Date/Year

(Beginning and completion dates of bachelor's degree)
(Name of university, college or school and department)

9/15/1970—6/15/1974 University of California, College of Arts and Science
Department of History

(Beginning and completion dates of master's degree)
(Name of university, graduate school, department and
title of thesis)

8/30/1974—6/15/1976 University of Pennsylvania
Graduate School of Arts and Science
Department of History
No thesis

(Beginning and completion dates of doctorate)
(Name of university, graduate school, department and
degree and date awarded, and dissertation title)

8/30/1976—6/15/1980 University of Pennsylvania
Graduate School of Arts and Science
Department of History
Ph.D in American Civilization, 6/15/1980
Dissertation title: Pioneers and Politics: Statemaking
in the Far West

Employment Record

Month/Date/Year

9/15/1980—6/15/1982 Lecturer, University of Pennsylvania

9/15/1982—6/30/1985 Assistant Professor, Kansas State University

7/ 1/1985—6/30/1993 Associate Professor, Colorado State University

7/ 1/1993 to present Professor, Colorado State University

Current Employer and Position

Professor, Department of History, Colorado State University

Field of Specialization

American Civilization

Publications:

Presentations:

Other academic and professional activities:

I certify the above information to be accurate and correct.

2011. 9. 15

Date

Applicant's Signature

JOHN JAMES SMITH

Applicant's Name(in Roman block capitals)

【別紙】専攻分野一覧

↓こちらからお選びください。

専門分野分類名	専門分野名称
情報学	情報学基礎
情報学	ソフトウェア
情報学	計算機システム・ネットワーク
情報学	メディア情報学・データベース
情報学	知能情報学
情報学	知覚情報処理・知能ロボティクス
情報学	感性情報学・ソフトコンピューティング
情報学	情報図書館学・人文社会情報学
情報学	認知科学
情報学	統計科学
情報学	生体生命情報学
神経科学	神経科学一般
神経科学	神経解剖学・神経病理学
神経科学	神経化学・神経薬理学
神経科学	神経・筋肉生理学
実験動物学	実験動物学
人間医工学	医用生体工学・生体材料学
人間医工学	医用システム
人間医工学	リハビリテーション科学・福祉工学
健康・スポーツ科学	身体教育学
健康・スポーツ科学	スポーツ科学
健康・スポーツ科学	応用健康科学
生活科学	生活科学一般
生活科学	食生活学
科学教育・教育工学	科学教育
科学教育・教育工学	教育工学
科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史
文化財科学	文化財科学
地理学	地理学
環境学	環境動態解析
環境学	環境影響評価・環境政策
環境学	放射線・化学物質影響科学
環境学	環境技術・環境材料
ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学
ナノ・マイクロ科学	ナノ材料・ナノバイオサイエンス
ナノ・マイクロ科学	マイクロ・ナノデバイス
社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム
社会・安全システム科学	自然災害科学
ゲノム科学	基礎ゲノム科学
ゲノム科学	応用ゲノム科学
生物分子科学	生物分子科学
資源保全学	資源保全学
地域研究	地域研究
ジェンダー	ジェンダー
哲学	哲学・倫理学

哲学	中国哲学
哲学	印度哲学・仏教学
哲学	宗教学
哲学	思想史
哲学	美学・美術史
文学	日本文学
文学	ヨーロッパ語系文学
文学	各国文学・文学論
言語学	言語学
言語学	日本語学
言語学	英語学
言語学	日本語教育
言語学	外国語教育
史学	史学一般
史学	日本史
史学	東洋史
史学	西洋史
史学	考古学
人文地理学	人文地理学
文化人類学	文化人類学・民俗学
法学	基礎法学
法学	公法学
法学	国際法学
法学	社会法学
法学	刑事法学
法学	民事法学
法学	新領域法学
政治学	政治学
政治学	国際関係論
経済学	理論経済学
経済学	経済学説・経済思想
経済学	経済統計学
経済学	応用経済学
経済学	経済政策
経済学	財政学・金融論
経済学	経済史
経営学	経営学
経営学	商学
経営学	会計学
社会学	社会学
社会学	社会福祉学
心理学	社会心理学
心理学	教育心理学
心理学	臨床心理学
心理学	実験心理学
教育学	教育学
教育学	教育社会学
教育学	教科教育学
教育学	特別支援教育
数学	代数学

数学	幾何学
数学	数学一般(含確率論・統計数学)
数学	基礎解析学
数学	大域解析学
天文学	天文学
物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
物理学	物性Ⅰ
物理学	物性Ⅱ
物理学	数理物理・物性基礎
物理学	原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ
物理学	生物物理・化学物理
地域惑星科学	固体地球惑星物理学
地域惑星科学	気象・海洋物理・陸水学
地域惑星科学	超高層物理学
地域惑星科学	地質学
地域惑星科学	層位・古生物学
地域惑星科学	岩石・鉱物・鉱床学
地域惑星科学	地球宇宙化学
プラズマ科学	プラズマ科学
基礎化学	物理化学
基礎化学	有機化学
基礎化学	無機化学
複合化学	分析化学
複合化学	合成化学
複合化学	高分子化学
複合化学	機能物質化学
複合化学	環境関連化学
複合化学	生体関連化学
材料化学	機能材料・デバイス
材料化学	有機工業材料
材料化学	無機工業材料
材料化学	高分子・繊維材料
応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学
応用物理学・工学基礎	薄膜・表面界面物性
応用物理学・工学基礎	応用光学・量子光工学
応用物理学・工学基礎	応用物理学一般
応用物理学・工学基礎	工学基礎
機械工学	機械材料・材料力学
機械工学	生産工学・加工学
機械工学	設計工学・機械機能要素・トライポロジー
機械工学	流体工学
機械工学	熱工学
機械工学	機械力学・制御
機械工学	知能機械学・機械システム
電気電子工学	電力工学・電気機器工学
電気電子工学	電子・電気材料工学
電気電子工学	電子デバイス・電子機器
電気電子工学	通信・ネットワーク工学
電気電子工学	システム工学
電気電子工学	計測工学

電気電子工学	制御工学
土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント
土木工学	構造工学・地震工学・維持管理工学
土木工学	地盤工学
土木工学	水工水理学
土木工学	交通工学・国土計画
土木工学	土木環境システム
建築学	建築構造・材料
建築学	建築環境・設備
建築学	都市計画・建築計画
建築学	建築史・意匠
材料工学	金属物性
材料工学	無機材料・物性
材料工学	複合材料・物性
材料工学	構造・機能材料
材料工学	材料加工・処理
材料工学	金属生産工学
プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作
プロセス工学	反応工学・プロセスシステム
プロセス工学	触媒・資源化学プロセス
プロセス工学	生物機能・バイオプロセス
総合工学	航空宇宙工学
総合工学	船舶海洋工学
総合工学	地球・資源システム工学
総合工学	リサイクル工学
総合工学	核融合学
総合工学	原子力学
総合工学	エネルギー学
基礎生物学	遺伝・ゲノム動態
基礎生物学	生態・環境
基礎生物学	植物生理・分子
基礎生物学	形態・構造
基礎生物学	動物生理・行動
基礎生物学	生物多様性・分類
生物科学	構造生物化学
生物科学	機能生物化学
生物科学	生物物理学
生物科学	分子生物学
生物科学	細胞生物学
生物科学	発生生物学
生物科学	進化生物学
人類学	人類学
人類学	生理人類学
農学	育種学
農学	作物学・雑草学
農学	園芸学・造園学
農学	植物病理学
農学	応用昆虫学
農芸化学	植物栄養学・土壌学
農芸化学	応用微生物学

農芸化学	応用生物化学
農芸化学	生物生産化学・生物有機化学
農芸化学	食品科学
林学	林学・森林工学
林学	林産科学・木質工学
水産学	水産学一般
水産学	水産化学
農業経済学	農業経済学
農業工学	農業土木学・農村計画学
農業工学	農業環境工学
農業工学	農業情報工学
畜産学・獣医学	畜産学・草地学
畜産学・獣医学	応用動物科学
畜産学・獣医学	基礎獣医学・基礎畜産学
畜産学・獣医学	応用獣医学
畜産学・獣医学	臨床獣医学
境界農学	環境農学
境界農学	応用分子細胞生物学
薬学	化学系薬学
薬学	物理系薬学
薬学	生物系薬学
薬学	創薬化学
薬学	環境系薬学
薬学	医療系薬学
基礎医学	解剖学一般(含組織学・発生学)
基礎医学	生理学一般
基礎医学	環境生理学(含体力医学・栄養生理学)
基礎医学	薬理学一般
基礎医学	医化学一般
基礎医学	病態医化学
基礎医学	人類遺伝学
基礎医学	人体病理学
基礎医学	実験病理学
基礎医学	寄生虫学(含衛生動物学)
基礎医学	細菌学(含真菌類)
基礎医学	ウイルス学
基礎医学	免疫学
境界医学	医療社会学
境界医学	応用薬理学
境界医学	病態検査学
社会医学	衛生学
社会医学	公衆衛生学・健康科学
社会医学	法医学
内科系臨床医学	内科学一般(含心身医学)
内科系臨床医学	消化器内科学
内科系臨床医学	循環器内科学
内科系臨床医学	呼吸器内科学
内科系臨床医学	腎臓内科学
内科系臨床医学	神経内科学
内科系臨床医学	代謝学

内科系臨床医学	内分泌学
内科系臨床医学	血液内科学
内科系臨床医学	膠原病・アレルギー・感染症内科学
内科系臨床医学	小児科学
内科系臨床医学	胎児・新生児医学
内科系臨床医学	皮膚科学
内科系臨床医学	精神神経科学
内科系臨床医学	放射線科学
外科系臨床医学	外科学一般
外科系臨床医学	消化器外科学
外科系臨床医学	胸部外科学
外科系臨床医学	脳神経外科学
外科系臨床医学	整形外科学
外科系臨床医学	麻酔・蘇生学
外科系臨床医学	泌尿器科学
外科系臨床医学	産婦人科学
外科系臨床医学	耳鼻咽喉科学
外科系臨床医学	眼科学
外科系臨床医学	小児外科学
外科系臨床医学	形成外科学
外科系臨床医学	救急医学
歯学	形態系基礎歯科学
歯学	機能系基礎歯科学
歯学	病態科学系歯学・歯科放射線学
歯学	保存治療系歯学
歯学	補綴理工系歯学
歯学	外科系歯学
歯学	矯正・小児系歯学
歯学	歯周治療系歯学
歯学	社会系歯学
看護学	基礎看護学
看護学	臨床看護学
看護学	地域・老年看護学